

令和5年度  
事業報告書  
決算書

一般社団法人 静岡県発明協会

【第1号議案】

## 令和5年度事業報告

会員数 令和5年4月1日現在 法人会員71 個人会員53 賛助会員6 計130  
 令和6年3月31日現在 法人会員69 個人会員48 賛助会員6 計123

### 1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

#### (1) 全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。

本年度も全国より多数の応募、推薦があり、本県は4社5件を推薦し下記の賞を受賞した。

令和5年度全国発明表彰式

日時 令和5年6月12日（月）午後3時10分～午後4時10分

会場 The Okura Tokyo プレステージタワー1階「平安の間Ⅱ・Ⅲ」東京都港区虎ノ門2-10-4

#### 令和5年度全国発明表彰受賞者一覧

受賞名	応募技術（創作）の名称	会社名
特許庁長官賞	分岐管と蛇行形状による新しい管楽器の意匠	ヤマハ（株）
発明賞	ヒートポンプ用多気筒回転ピストン圧縮機の排出ポート構造の発明	東芝キャリア（株）

#### (2) 関東地方発明表彰

本発明表彰は、地方において優秀な発明と認められるとともに、その実施効果が高く、地域産業の向上に寄与された方々の功績を顕彰するものである。本年度の表彰受賞総数は177件498名で、うち本県関係は下記の一覧のとおり17件57名を推薦した。

表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で開催された。

令和5年度関東地方発明表彰式

日時 令和5年11月29日（水）

会場 ホテルアソシア静岡（静岡県静岡市葵区黒金町56）

#### 令和5年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	受賞者名	特許・登録番号	会社名
文部科学大臣賞	スキャン式ハイビーム配光可変ヘッドランプ	山村 聡志	第 5722882 号	株式会社小糸製作所
日本弁理士会 会長賞	CNF 添加による徐放性 バラ香料	石橋 佳奈	第 7173476 号	静岡県工業技術研究所
		山下 里恵		静岡県工業技術研究所
		前田 研司		静岡県工業技術研究所
		櫻川 智史		静岡県工業技術研究所
		藤井 好己		一般社団法人静岡バラ振興会
		志田 正人		一般社団法人静岡バラ振興会
		高田 勝己		一般社団法人静岡バラ振興会

静岡県知事賞	ノンストップ暖房技術の冷媒回路構成	川島 惇	第 7098064 号	三菱電機株式会社
		早丸 靖英		三菱電機株式会社
		佐藤 雅一		三菱電機株式会社
		安達 祐介		三菱電機株式会社
静岡県 発明協会会長賞	マイクロカプセル型エポキシ樹脂用硬化剤	島田 仁	第 6283568 号	旭化成株式会社
		木下 大輔		旭化成株式会社
		相川 一之		旭化成エポキシ株式会社
静岡県 発明協会会長賞	プロペラファン及び室外機	寺本 拓矢	第 6615379 号	三菱電機株式会社
		池田 尚史		三菱電機株式会社
発明奨励賞	異常検知装置及びプログラム	大島 英司	第 7072611 号	本田技研工業株式会社
		竹腰 響輔		本田技研工業株式会社
		久保 結人		トヨタ自動車株式会社
発明奨励賞	プリンタシステム	原田 範昭	第 5661667 号	東芝テック株式会社
発明奨励賞	電子レシートシステム	五反田 剛	第 6141467 号	東芝テック株式会社
		安藤 太郎		東芝テック株式会社
		長谷川 圭一		東芝テック株式会社
		石原 智		東芝テック株式会社
発明奨励賞	空気調和機におけるファン静音化技術	磯村 一樹	第 6486458 号	三菱電機株式会社
		栗原 誠		三菱電機株式会社
発明奨励賞	セパレート型空気調和機のバルブ閉保護	東川 友美	第 5258627 号	三菱電機エンジニアリング株式会社
		谷川 誠		三菱電機エンジニアリング株式会社
発明奨励賞	改正 RoHS 禁止物質の高速検査技術	秋山 秀之	第 6366657 号	株式会社日立ハイテクサイエンス
		山田 健太郎		株式会社日立ハイテクサイエンス
		竹内 俊公		元株式会社日立ハイテクサイエンス
発明奨励賞	受光部に加温手段を設けた食味分析計	石津 裕之	第 6783999 号	静岡製機株式会社
		青島 由武		静岡製機株式会社
		福元 義高		元静岡製機株式会社
		殿柿 章子		静岡製機株式会社
発明奨励賞	永久磁石埋込型モータの回転子及び圧縮機	矢部 浩二	第 5677584 号	三菱電機株式会社
		馬場 和彦		三菱電機株式会社

発明奨励賞	高効率ヒートポンプ給湯システム	玉木 章吾	第 5748002 号	三菱電機株式会社
		齊藤 信		三菱電機株式会社
		上原 伸哲		三菱電機株式会社
発明奨励賞	製造コストを低減する高効率熱交換技術	山田 享	第 7027608 号	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
		松下 廉		元日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
発明奨励賞	ヒートポンプ式熱源機の構成部品の適切配置	室井 邦雄	第 5401563 号	東芝キャリア株式会社
		丹野 英樹		東芝キャリア株式会社
		岡田 成浩		東芝キャリア株式会社
		小澤 光輔		東芝キャリア株式会社
		渡邊 裕昭		東芝テック株式会社
		松本 憲二郎		東芝キャリア株式会社
		石黒 孝光		東芝キャリア株式会社
発明奨励賞	軽量かつコンパクトなスポット空調	小澤 哲朗	第 1668021 号	東芝キャリア株式会社
		田辺 厚		東芝キャリア株式会社
		一色 正雄		株式会社東芝
奨励功労賞		脇屋 和紀		元株式会社大川原製作所

### (3) 静岡県科学技術振興表彰

科学技術の普及啓発や科学技術水準の向上を目的に、県内産業界の科学技術の発展や社会生活の向上に貢献された方々を表彰するものである。「優秀発明考案者」「研究開発功労者」「産業技術振興功績者」の3分野を対象に、本年度は計10人を静岡県が表彰した。

当協会からは次表のとおり1件1名を推薦し、表彰された。

受賞者名	区分	種類	業績名
武田 雅成	優秀発明考案者	功労表彰	圧送用先行材

令和5年度静岡県科学技術振興表彰式

日時 令和5年11月14日（火）

会場 静岡県庁別館

## 2. 青少年の創造性開発及び育成

### (1) 学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会が主催し、静岡県、県教育委員会、関東経済産業局、(公社)発明協会、日本弁理士会、静岡市教育委員会、県市長会、県町村会、(公財)静岡県産業振興財団及び各報道機関の後援により、「第71回静岡県学生児童発明くふう展」と「第46回静岡県未来の科学の夢絵画展」を開催した。

会期 令和5年11月3日（金）（展示及び表彰式）

会場 静岡県産業経済会館1階ロビー（展示会場）

静岡県産業経済会館3階大会議室（表彰式）（入場者延べ261人）

### ①第71回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得してもらうとともに、優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	40点	14点
中学生	10点	10点
合計	50点	24点

上記県展で入選した作品から、小学生8点、中学生5点を第82回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
日本弁理士会会長賞	トイレットpH(ペーパー)“おじいちゃんいつまでも元気でいてね”	富士市立富士第二小学校	5年	野澤 亮太

### ②第46回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現してもらうとともに、優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	15点	10点
中学生	81点	14点
合計	96点	24点

上記県展で入選した24点を第46回未来の科学の夢絵画展に推薦出品し、次の方々が入賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
国立科学博物館長賞	多肉植物ダム	湖西市立湖西中学校	2年	伊藤 逞斗
優秀賞	未来の広場	浜松市立開成中学校	2年	吉村 心夏
奨励賞	地球を救おう～ゴミから電気へ	浜松市立広沢小学校	4年	川上 将太
奨励賞	月面で危機を救え!	浜松市立曳馬中学校	3年	中居 咲和

### ③後援

児童生徒の創造性開発育成のため、次のとおり後援した。

- 1) 第58回富士市発明くふう展後援
- 2) 第37回島田市小中学生アイデア工作展後援
- 3) 第40回湖西発明くふう展並びに第29回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第8回三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト協賛

### (2) 児童・生徒におけるものづくり体験の機会創出促進業務（静岡県からの受託事業）

児童・生徒のものづくり体験の場を提供する県内少年少女発明クラブの活動を広く周知し、新たなクラブの設置を促進するため、当協会ホームページにPRページを開設し、保守管理を行った。

<発明クラブ> 三島市少年少女発明クラブ、沼津市少年少女発明クラブ、静岡市少年少女発明クラブ、藤枝市少年少女発明クラブ、湖西市少年少女発明クラブ

### 3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び独立行政法人工業所有権情報・研修館から受託した産業財産権に関する事業を実施し、知的財産権制度の普及啓発に努めた。

## (1) 知的財産活用促進事業（静岡県からの受託事業）

中小企業の開放特許や大学・研究機関の研究成果である特許技術等を掘り起こし、地域の中小企業に積極的に技術移転を行った。

実施体制：特許流通アドバイザー 2名（非常勤）

項目	計画(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (4年度)
訪問企業件数	405	541	133	131	412
来訪指導件数	45	38	84	97	39
マッチング件数	80	76	95	101	75
成約件数	19	12	63	100	12
事業化件数	6	3	50	33	9
講習／講演	68	85	125	128	66

## (2) 知財総合支援窓口運營業務（INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）からの受託事業）

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

### ①支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下「中小企業等」という。）対象として実施した。

### ②実施体制

中部（本部） 3名（常勤1名、非常勤2名）

東部（沼津支所）2名（常勤1名、非常勤1名）

西部（浜松支所）2名（常勤2名）

### ③知財専門家の活用

窓口支援担当者及び相談対応者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と協働して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

#### (ア) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財OBや中小企業診断士等の中から、課題解決に適した人材を選定した。

#### (イ) 活動内容

知財専門家は、窓口支援担当者・相談対応者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況の確認等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

### ④支援実績

項目	目標(件)	実績(件)	達成率(%)	前年度実績比	参考 (4年度)
窓口相談受付件数	2,900	2,813	97.0	99.0	2,840
周知活動件数	270	300	111.1	119.0	252
農業・食関連産業件数	300	532	177.3	164.2	324
連携支援件数	500	772	154.4	152.6	506
新規相談件数	480	447	93.1	109.0	410
顧客満足度調査結果	90.0	99.42	—	—	95.4

## ⑤電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用者は、77人で、1か月当たり約6.4人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が77人中68人と大部分を占めており、地域別では、静岡市24人、藤枝市11人、島田市10人、富士市・焼津市各6人、西伊豆町・菊川市・掛川市各3人、伊東市・吉田町・東京各2人、その他5人となっている。

## ⑥連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口運營業務支援機関連携会議を、以下の通り2回開催し、各機関の管理者や担当者が集まり意見交換等を実施

(ア) 第1回：令和5年6月23日（月） 静岡県産業経済会館3階特別会議室

### 【会議参加機関】

関東経済産業局、INPIT、静岡県、静岡市、浜松市、（公財）静岡県産業振興財団、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、（公社）静岡県農業振興公社、静岡県信用保証協会、日本政策金融公庫静岡支店、三島信用金庫、沼津信用金庫、静岡信用金庫、静岡県よろず支援拠点、日本弁理士会東海会静岡県委員会、静岡県警察本部、（一社）静岡県発明協会

### 【内容】

本事業の目的を再確認し、各々の活動状況や協働支援の実例、課題や問題点、今後の活動などについて協議・検討し、連携の強化を図った。

(イ) 第2回：令和6年3月21日（木）ファルマバレーセンター

### 【会議参加機関】

関東経済産業局、INPIT、静岡県、沼津市、三島市、富士宮市、裾野市商工会、長泉町商工会、三島商工会議所、富士商工会議所、静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、静岡中央銀行、沼津信用金庫、日本政策金融公庫（沼津支店、静岡支店）、商工組合中央金庫、日本弁理士会東海会、弁護士知財ネット、県中小企業団体中央会、ファルマバレーセンター、（一社）静岡県発明協会

### 【内容】

ありがちな相談の中に知財の課題が隠れていることを参加者に認識してもらうため、弁理士会及び弁護士知財ネットに協力をいただき、仮想の相談事例を題材とした意見交換をグループワークで実施

## ⑦事業の周知、広報活動の実績

(ア) ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例を紹介している。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしてあり、事業の周知に努めた。

(イ) 事業内容リーフレット等の作成・配布

見開きA3のリーフレットを、合計6,000部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

これとは別に、12,310部のINPITリーフレットを商工会・商工会議所から各会員企業に配布していただいた。

(ウ) アンケート調査

知財総合支援窓口の利用促進を図るため、支援機関から補助金（ものづくり支援、事業再構築）を受けている企業並びに広告配信サービス「シラレル」及び「ADMATRIX DSP」の実施によりホームページへアクセスしてきた企業を対象としたアンケート調査を実施した。

(アンケート送付先 東部地域 238 社、中部地域 311 社、西部地域 363 社、計 912 社)

#### (エ) 包括連携協定の締結

企業における知的財産の活用促進を通じた地域経済の活力創出を目指し、金融機関との連携を強化するため、新たに島田掛川信用金庫と包括連携協定を締結した。

これにより静岡県窓口として包括連携協定を締結した金融機関は 6 機関（静岡県発明協会としての協定を含めると 7 機関）となった。

協定締結金融機関とは、同機関職員や会員企業に対する知財セミナーを共催し、静岡県知財総合支援窓口の事業内容や連携事例を紹介する等、窓口の周知と連携強化を図った。

#### (オ) WEB 広告配信サービスを活用

BtoB 向け WEB 広告配信プラットフォーム「シラレル」及び「ADMATRIX DSP」を活用し、県内中小企業の製造、技術サービス、卸・小売、宿泊、飲食、観光業者を抽出し、各種メディアを使ってピンポイントで広告配信した。両サービスには、バナー広告をクリックした企業をリスト化することができる利点があり、リストは周知活動にも活用した。

広告配信を 3 か月間実施した結果、6,509 件のクリック（クリック率 0.10%）があり、広告がクリックされることで、ホームページへのアクセス数等の増加に大きく寄与し、認知度の向上につながった。

#### (カ) YouTube 動画の活用

より多くの人に興味、関心を持ってもらうよう「INPIT 静岡県知財総合支援窓口」PR 動画のコンテンツを配信し、事業周知に努めた。

#### (キ) その他

- ・ 中小企業や中小企業支援機関等に対する周知活動を実施（300 件、内訪問によるもの 129 件）
- ・ 関東経済産業局、日本弁理士会東海会、金融機関等と当協会（静岡県知財総合支援窓口）との連携により開催したセミナー等において、知財総合支援窓口の活動紹介等を実施した。
- ・ 公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

## 4. 公報等各種情報提供

### (1) 県内の特許公報等分類別動向調査 (R5. 4～R6. 3)

区 分 (注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合 計
公 開 特 許 公 報	261	759	116	14	67	244	434	482	2,377
特 許 公 報	214	790	66	16	56	378	378	414	2,312
登 録 実 用 新 案 公 報	29	23	3		11	6	5	3	80
公 表 特 許 公 報			1				2	1	4
再公表特許公報(注2)									
合 計	504	1,572	186	30	134	628	819	900	4,773

(注1) A=生活必需品、B=処理操作・運輸、C=化学及び冶金、D=繊維及び紙

E=固定構造物、F=機械工学・照明・加熱・武器・爆破、G=物理学、H=電気

(注2) PCT(国際特許協力条約)に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

### (2) 先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。



### (3) 特許公報類の検索・閲覧サービス

特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）を活用した特許情報の検索・閲覧サービスを行った。

## 5. 知的財産権に係る人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

### (1) 研究会活動 「産業財産権関連実務研究部会（通称：パテント部会）」

知財に関する様々な問題が起こらないよう、また企業のビジネスに知財を有効に活用できるよう、どのように知財管理を進めるべきかを探し出すため、企業の中で必要だとされている知財管理の実務に関するテーマを決め、講演会や勉強会を開催した。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で開催した。

回数	月日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月19日	講演会 「元特許庁審査官から見た審査実務」 講師：かみや特許事務所 弁理士・中小企業診断士 神谷 直慈 氏	24名	ペガサート
第2回	5月17日	1の島 「特許ことはじめ#1 “特許の目”を効かせた事例の紹介」 講師：一般社団法人静岡県発明協会 特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏	5名	ペガサート
		2の島 勉強会 「独占禁止法から考える知的財産利用・共同研究開発の留意点」 進行：クミアイ化学工業（株） 生田目 雅之 氏	21名	
第3回	6月20日	記念講演会 テーマ「経済安全保障の確保に向けて～国外技術流出防止対策～」 第1部 演題「外国への技術流出のリスク」 講師：静岡県警察本部外事課 牧野課長補佐 第2部 演題「外為法に基づく対内直接投資審査制度について」 講師：東海財務局理財部理財課 加納主任投資調査官	24名	県産業 経済会館
第4回	7月19日	1の島 講座・演習 「特許ことはじめ#2 特許・商標調査入門」 講師：INPIT静岡県知財総合支援窓口 相談対応者 吉田 典江 氏	6名	ペガサート
		2の島 勉強会 「知財係争の軟着陸を考えよう」 進行：東山特許事務所 所長 弁理士 東山 喬彦 氏	16名	
第5回	9月20日	講演会 「知的財産活用～知財ミックス」 講師：弁理士 藤原 康高 氏	22名	ペガサート

第6回	10月18日	グループ勉強会 「強い経営・次の一手 ケーススタディ」 進行：静岡製機（株） 山口 拓也 氏	17名	ペガサート
第7回	11月17日	研修旅行 1) 日本特許庁（東京都霞が関） 2) ビジネスコート（東京都中目黒）	19名	東京都
第8回	12月20日	講演会：商標制度よくばり勉強会 「商標制度の基礎から実務で使える知識まで、外国（米・中）の制度も含めて解説！」 講師：Markstone知的財産事務所 弁理士 中村 祥二 氏	24名	ペガサート
第9回	2月21日	講演会 「知財コンサルティングをやってみよう！」 講師：さくら国際特許法律事務所 弁理士 森岡 智昭 氏	20名	ペガサート
第10回	3月19日	講演会 「裁判例から見る進歩性判断」 講師：みやび坂総合法律事務所 弁護士・弁理士 高橋 淳 氏	24名	ペガサート

## (2) 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す。  
本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染対策を十分に行う中で開催した。  
(計画していた4回のうち、3回中止、1回リアル開催した。)

第1回	4月19日	第22回「知財管理ことはじめ」 テーマ 「突然『警告状』が舞いこんで来たら」 講師：元旭テック株式会社 特許室長 鈴木 直博 氏	9名	ペガサート
-----	-------	---	----	-------

## (3) 知的財産権制度説明会（発明推進協会への協力事業）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインによる開催となった。

## 6. 会議等

- (1) 会計監査 令和5年5月12日 当協会
- (2) 総 会 令和5年6月20日 静岡県産業経済会館
- (3) 理 事 会 令和5年5月19日 静岡県産業経済会館  
令和5年6月20日 静岡県産業経済会館  
令和6年3月22日 静岡県産業経済会館
- (4) パテント部会幹事会  
令和5年4月19日 他10回
- (5) 関東地方発明表彰地方選考委員会  
令和5年8月24日 静岡県産業経済会館

## (6) 関東地方発明表彰式典

令和5年11月29日 ホテルアソシア静岡

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関東地域発明協会会長懇談会は中止)

## 7. 各種情報の収集及び提供事業

### (1) ホームページによる情報発信

キッズコーナー及び会員入会ページのリニューアル、情報の随時更新、メールマガジンなどにより最新の情報を発信している。

### (2) 会報誌による情報発信（「知財情報しずおか」を発行）

令和5年6月1日 2023 VOL.9 No.49

令和5年9月1日 2023 VOL.9 No.50

令和5年12月1日 2023 VOL.9 No.51

令和6年3月1日 2024 VOL.9 No.52

## 8. 弁理士会静岡県委員会へのオブザーバー参加

当協会業務において連携を図る観点から、日本弁理士会東海会静岡県委員会（静岡県地区会運営委員会）に出席した。

令和5年4月21日（ハイブリッド開催）

令和5年9月8日（ハイブリッド開催）

令和5年12月15日（ハイブリッド開催）

令和6年3月15日（ハイブリッド開催）

# 貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	35,633,699	37,421,220	▲ 1,787,521
未収入金	11,961,260	12,475,785	▲ 514,525
流動資産合計	47,594,959	49,897,005	▲ 2,302,046
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	11,048,800	9,745,440	1,303,360
特定資産合計	11,048,800	9,745,440	1,303,360
(2) その他固定資産			
敷金	134,900	134,900	0
ソフトウェア	396,000	0	396,000
その他固定資産合計	530,900	134,900	396,000
固定資産合計	11,579,700	9,880,340	1,699,360
資産合計	59,174,659	59,777,345	▲ 602,686
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,923,019	1,753,909	169,110
預り金	1,137,560	915,188	222,372
未払消費税	1,841,400	2,583,300	▲ 741,900
未払法人税等	300,000	208,500	91,500
流動負債合計	5,201,979	5,460,897	▲ 258,918
2. 固定負債			
退職給付引当金	11,048,800	9,745,440	1,303,360
固定負債合計	11,048,800	9,745,440	1,303,360
負債合計	16,250,779	15,206,337	1,044,442
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	42,923,880	44,571,008	▲ 1,647,128
負債及び正味財産合計	59,174,659	59,777,345	▲ 602,686

# 正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[ 3,015,000 ]	[ 3,005,000 ]	[ 10,000 ]
法人会員受取会費	2,300,000	2,250,000	50,000
個人会員受取会費	660,000	700,000	▲ 40,000
賛助会員受取会費	55,000	55,000	0
② 事業収益	[ 54,471,377 ]	[ 53,699,508 ]	[ 771,869 ]
発明奨励事業収益	350,000	400,000	▲ 50,000
情報サービス複写事業収益	83,799	63,668	20,131
情報サービス刊行物事業収益	55,982	67,854	▲ 11,872
都道府県受託事業収益	11,290,719	11,289,693	1,026
情報・研修館受託事業収益	42,690,877	41,878,293	812,584
③ 補助金	[ 500,000 ]	[ 0 ]	[ 500,000 ]
都道府県補助金	500,000	0	500,000
④ 受取発明奨励等	[ 700,000 ]	[ 50,000 ]	[ 650,000 ]
受取表彰発明奨励等	700,000	50,000	650,000
⑤ 雑収益	[ 226,678 ]	[ 222,754 ]	[ 3,924 ]
受取利息	552	517	35
雑収益	226,126	222,237	3,889
経常収益計	58,913,055	56,977,262	1,935,793
(2) 経常費用			
① 事業費	[ 54,811,498 ]	[ 52,926,091 ]	[ 1,885,407 ]
発明奨励発明展事業費	1,383,393	1,366,817	16,576
発明奨励表彰式事業費	2,633,811	726,805	1,907,006
発明普及会員管理費	63,791	99,251	▲ 35,460
特許制度普及事業費	1,012,614	1,008,355	4,259
特許情報発信事業費(複写事業)	11,516	14,949	▲ 3,433
特許情報発信事業費(刊行物事業)	46,702	47,998	▲ 1,296
都道府県受託事業費	11,290,719	11,289,693	1,026
情報・研修館受託事業費	38,368,952	38,372,223	▲ 3,271
特許庁請負事業費	0	0	0
② 人件費	[ 3,663,872 ]	[ 3,000,046 ]	[ 663,826 ]
給料手当	1,656,314	1,067,508	588,806
法定福利費	636,570	615,297	21,273
退職給付費用	1,303,360	1,286,440	16,920
福利厚生費	67,628	30,801	36,827
③ 事務費	[ 1,822,313 ]	[ 2,277,936 ]	[ ▲ 455,623 ]
水道光熱費	240,137	242,237	▲ 2,100
通信費	207,768	222,613	▲ 14,845
賃借料	293,700	357,060	▲ 63,360
旅費交通費	1,660	1,580	80
消耗品費	59,329	223,127	▲ 163,798
会議費	134,554	166,410	▲ 31,856
支払手数料	436,612	436,062	550
諸会費	52,500	52,500	0
租税公課	136,293	84,507	51,786
保守料	160,600	215,600	▲ 55,000
広告宣伝費	0	0	0
修繕費	0	165,000	▲ 165,000
ソフトウェア償却費	99,000	111,240	▲ 12,240
図書費	160	0	160
経常費用計	60,297,683	58,204,073	2,093,610
当期経常増減額	▲ 1,384,628	▲ 1,226,811	▲ 157,817

# 正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 1,384,628	▲ 1,226,811	▲ 157,817
法人税、住民税及び事業税	262,500	171,000	91,500
当期一般正味財産増減額	▲ 1,647,128	▲ 1,397,811	▲ 249,317
一般正味財産期首残高	44,571,008	45,968,819	▲ 1,397,811
一般正味財産期末残高	42,923,880	44,571,008	▲ 1,647,128
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	42,923,880	44,571,008	▲ 1,647,128

# 財務諸表に対する注記

## 1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし

## 2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産：定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備、構築物は定額法）を採用  
無形固定資産：定額法を採用
- (4) 引当金の計上基準  
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上  
なお、未償却の適用時差異残高は、1,328千円（残存償却数2年）であります。
- (5) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

## 3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	9,745,440	1,303,360	0	11,048,800
合 計	9,745,440	1,303,360	0	11,048,800

## 4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	11,048,800	( — )	( — )	( 11,048,800 )
合 計	11,048,800	( 0 )	( 0 )	( 11,048,800 )

## 5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	495,000	99,000	396,000
合 計	495,000	99,000	396,000

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	9,745,440	1,303,360	0	0	11,048,800



# 財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金	運転資金として 源泉徴収税等	34,496,139
		静岡銀行 本店 静岡銀行 本店		
	未収金	静岡県 情報・研修館受託事業	知的財産活用促進事業費残額 知財総合支援窓口運営業務	1,290,719 10,670,541
流動資産合計				47,594,959
(固定資産) 特定資産	退職給付引当資産	定期預金	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	11,048,800
		静岡銀行 本店		
	その他固定資産	敷金	東部(沼津支所) 満喜(株)	沼津支所賃貸敷金 会計ソフト
固定資産合計				11,579,700
資産合計				59,174,659
(流動負債)	未払金	静岡年金事務所	2月分社会保険料	182,906
		補助員	知財総合支援窓口運営業務人件費	112,460
		相談担当者	知財総合支援窓口運営業務人件費	674,480
		流通AD	知的財産活用促進事業人件費	736,000
		NTT-ME	1月～3月分プロバイダ料金等	7,095
		NTTファイナンス(株)	1月～3月インターネット回線使用料等	43,625
		キャンオンマーケティングジャパン(株)	コピー料金	3,300
		登崎哲也	発明クラブwebページ管理費	6,600
ASKUL	消耗品	48,432		
サイバーパテント	3月分使用料	28,875		
佐川急便(株)	アンケート調査郵送料等	77,937		
㈱TOKAI	3月分プロバイダ料金	1,309		
預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	1,137,560	
未払消費税	静岡税務署	5年度消費税	1,841,400	
未払法人税等	静岡税務署	5年度法人税	300,000	
流動負債合計				5,201,979
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	11,048,800
		静岡銀行 本店		
固定負債合計				11,048,800
負債合計				16,250,779
正味財産				42,923,880

# 監査報告書

令和5年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

令和6年5月13日

監事

石垣

明彦



監事

滝川

一儀

